

## 令和5年度第1回国有林モニターアンケート（結果概要）

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様の御意見や御感想を的確に把握し、それらを反映した管理経営を推進するための取組の一つとして、国有林モニター制度を設けています。

この度、令和5年12月に、令和5年度第1回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

今回アンケートに御協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

### ○アンケートの実施概要

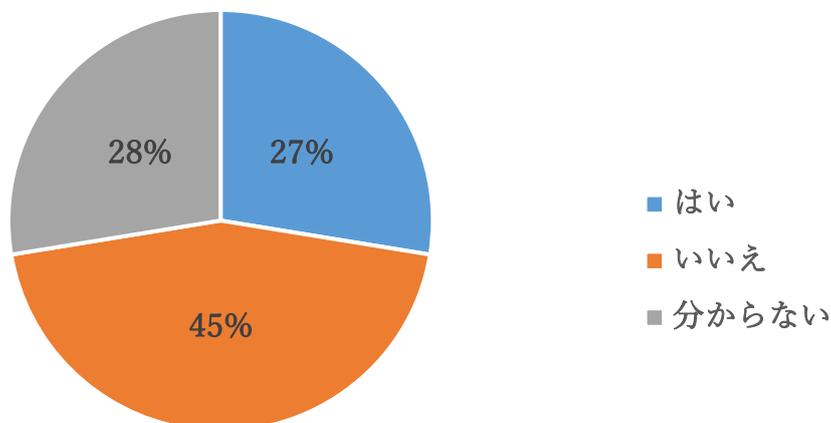
発送 : 令和5年12月1日  
回答期限 : 令和5年12月22日  
回答率 : 62% (47人中29人)

国有林モニター制度とは、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、広報やパンフレットで情報提供を行うとともに、アンケートの実施やモニター会議の開催等を通じて意見を伺うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

現在、令和4年4月～令和6年3月の2年間を任期として、管内5県の47名の方に国有林モニターとして活動していただいております。

## 1 適切な森林整備の推進について

(1) 御自身の森林との関わりの中で、森林の整備が十分に行われていると感じますか。



### 【理由】

#### 1. はい

- ・大きな災害は起きていない。森林の保護、管理、再生は行われていると思う。
- ・将来、未来への森林保護、森林ビジネスの向上として、地道な植林活動、治山事業等が行われている。
- ・見学会を通じて、下刈りやつる草の除去が定期的になされている現状に触れた。
- ・モニターに参加することで災害を防ぐ為の未来を見据えた処置が分かったので。
- ・実際に奥深い山に行くことは稀であり、整備の状況を確認する機会は少ないが、毎回、貴局から送付される、「林野」や「みどりの東北」の情報誌を通して、国や行政、企業が整備に力を注いでいることが分かったから。
- ・国有林に関してはきちんとされていると思う。以前仕事で山の中の水道施設やアンテナ廻りを歩いた時も業者が手入れしていた。私有林は難しいのではと思う。

#### 2. いいえ

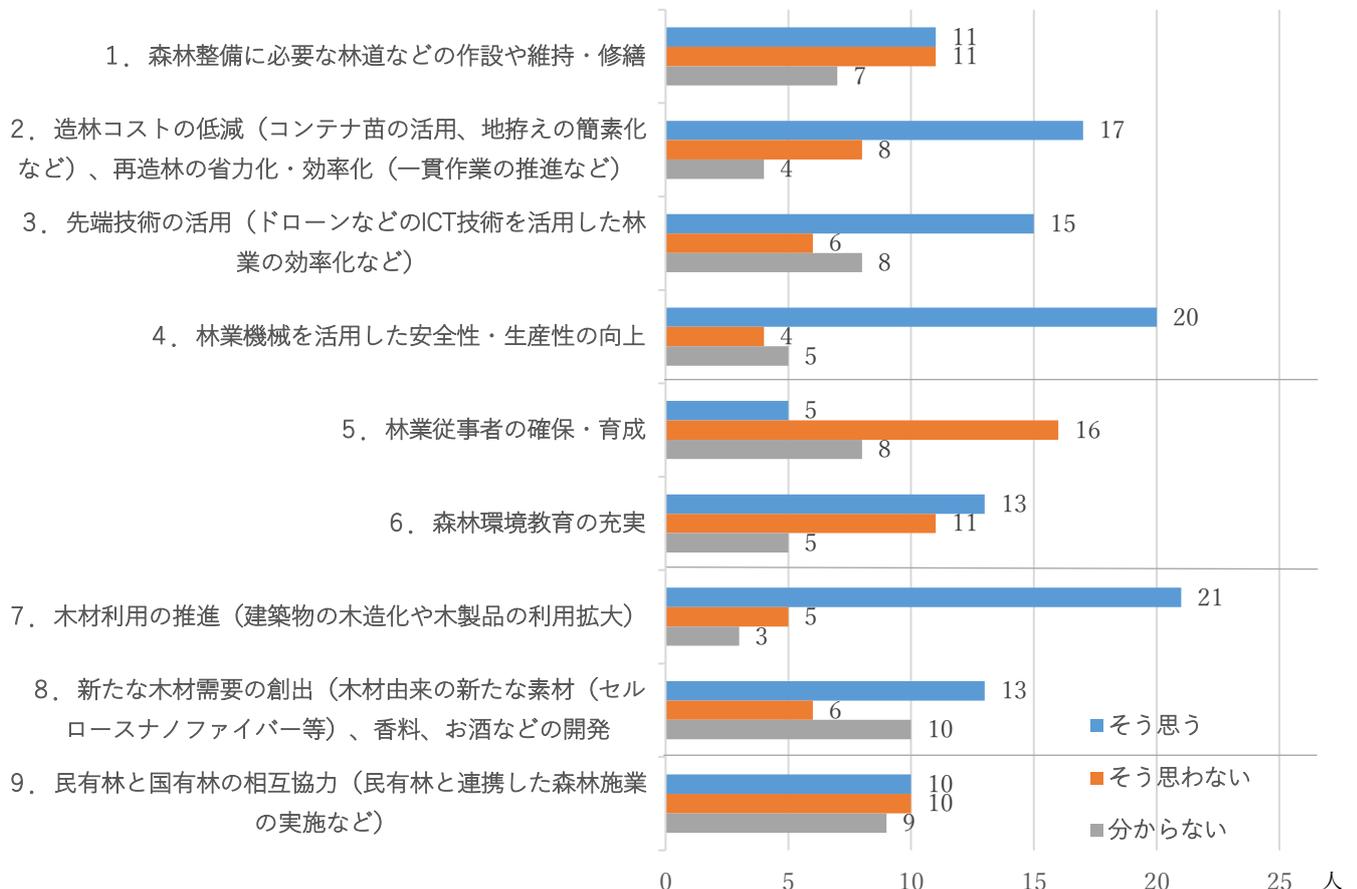
- ・もっと広葉樹林があれば災害を少なくできるのではないかと。
- ・春から秋にかけて、毎月、山に行っているが、倒木がそのままになっていたり、倒れ掛かっている巨木などを今年はよく目にした。森林整備は人手もかかるし、費用もかかるが、まだまだだと思える。
- ・十分とまでは言えないと感じる。
- ・ここ数年雪害で杉がかなり倒れている。農作業道に倒れたものは支障のない程度処理しているが、それ以外は手付かず。林道にも倒れていて車での入山が不可能。
- ・特に民有林の間伐が行われず倒木が目立つなど、管理が行われている山林が非常に少なくなっている。また、伐採後は造林が行われておらず放置されている。
- ・森林業従事者の高齢化と後継者不足。
- ・子どもの頃より山道が荒れている。整備されていない。
- ・周りを見ても、間伐されない杉林が多く見られる。

### 3. 分からない

- ・日常生活で森林との関わりを持つ機会が少ない中で、昨年の現地見学会や送付頂く資料を見ると整備が十分に行われていると思うが、近場の民有林は下草や枝打ちなど手入れがされていないため荒れているなあと感じる時がある。
- ・国有林のように、限定的に保護されている場所は整備が進んでいるが、それ以外は正直誰が管理しているのか、どんな役割があるのか、分からないから。
- ・外から見ただけでは、適切に森林整備がされているか分からない。
- ・限界集落では山は荒れ果て『森林整備』が十分に行われていないと感じる場所がある。しかし、いつかは人口減少にて『森林整備』すら不可能になる時期がやってくるかと思うが、数百年先を見越せば原生林に戻って行くので、可能な範囲で『森林整備』していけば良いと感じている。
- ・私の住む周辺の森林整備が着実に実施されていると思う。林業関係者の地道な活動と、その御苦勞に感謝の気持ちで一杯だが、十分かと言えば、分かりません。
- ・車で移動して東北各地の山を目にする。杉などは良く枝打ちされていて、手入れが行き届いているように見えるが、交通の便の良いところだからなのでは？少し奥に入ったり不便なところの山林には手が付けられていないのでは？と思う。

### (2) 森林の持つ公益的機能の発揮のために、「伐って、使って、植えて、育てる」という適切な森林整備が重要ですが、

#### ①適切な森林整備を推進していくための次の取組は十分行われていると思いますか。



② ①で「そう思わない」と回答した方は、その理由を教えてください。

**(1～4. 林道作設、造林コスト低減、先端技術活用、機械活用による安全性向上)**

- ・山林所有者の山への愛着、親しみがなくなってきており、当然、山の管理は手薄になり関心がないことから所有山林に足を運ばなくなり、林道整備の必要性を持ち得ない状況となっているためと考える。
- ・倒木による林道の不通。
- ・「造林コストの低減」に関しては、下刈り作業にシルバー人材センターの活用拡大の余地があるのではないか。
- ・再造林の前に「伐って」ができない（経費の問題）。
- ・「先端技術の活用」に関しては、ヒトデ原料の忌避剤に代表される民間技術の効果検証も図り、有効性と費用対効果が確認できれば導入の検討も必要ではないか。
- ・安全に関して、林業従事者の災害が多く、重機操作や伐倒作業で発生していると感じている。重機の安全性を高めるのも重要だが、人への教育も必要以上に行ってほしい。

**(5. 林業従事者の確保、6. 森林環境教育の充実)**

- ・林業従事者の高齢化と不足。
- ・林業従事者の育成は上手くすすんでいないと思う、要因は低所得の為か。
- ・林業に携わっている人が足りないので、森林環境の状態を維持するのが難しいと思う。毎年の様にどこかで自然災害が発生しているので大変なのだろう。
- ・造林コストの低減、先端技術の活用、林業機械の活用などに資金が流れ続けている結果、「会社」は育っても「林業従事者」が育ちにくい状況になっていると思う。高性能林業機械によって生産性が向上し、効率化されたのであれば、その恩恵が賃金アップという形で林業従事者や新たな人材を増やす取り組みに還流されているのかどうかを厳しくチェックして欲しい。機械の経費をペイするために人件費の削減を考えるような企業の姿勢を変えさせるのも、国の大事な役割だと思う。
- ・少しずつ、先端技術は取り入れられ、林業大学校等で若手の教育、就業を後押ししている状況は把握しているが、それは全国の東北の森林のほんの少しなのではと懸念している。現に林業をしている知り合いは山仕事をして怪我をし、介護状態に。林業だけではないと思うが、どうしても危険が多い職種と感じている。最新の機械は便利だと思うが、とても個人事業では手が出ない金額だと思う。民官、公共に関わらず林業全体を活性化する為には連携を取り、賃貸・共有等進めて底上げが必要と思う。
- ・ハローワークで、林業従事希望者の体験の募集があったが、現地（山間部）までが遠く、興味があったが、参加を見合わせた事があった。若者が参加しやすいよう、バスを出したり、交通費を助成する等すれば、参加者も増え、就業にもつながると思う。
- ・林業従事者の確保育成、人手不足と職種柄難しいのかなと感じる。
- ・教育は若い世代（小中高生）だけでなく幅広い世代にも必要。

- ・まだまだ森林について課題はあると思う。一般の人にはメディアや SNS などでもっと林業について発信すると良いと思う。

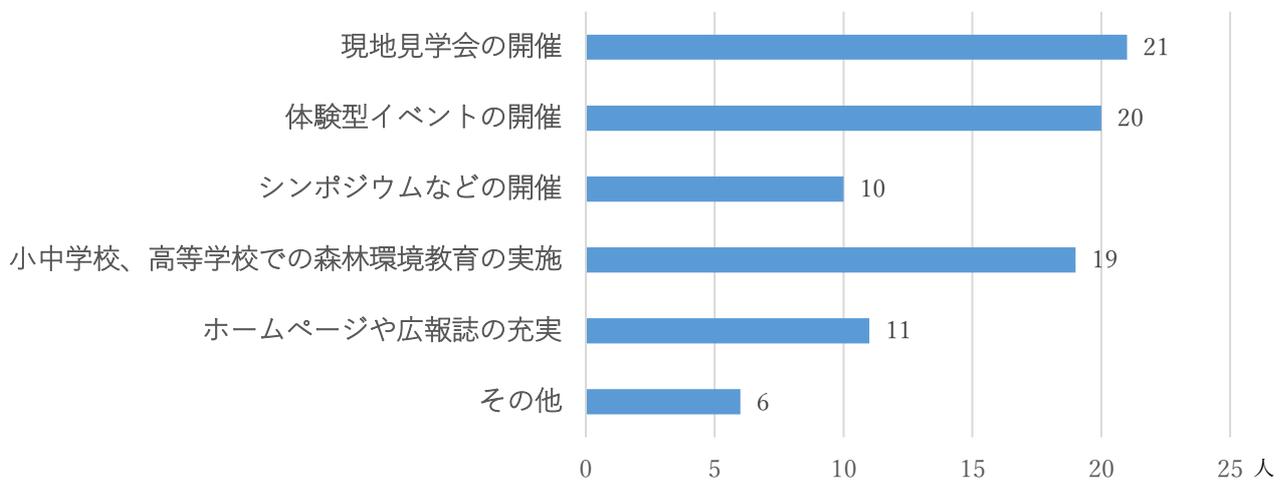
### (7. 木材利用の推進、8. 新たな木材需要の創出)

- ・国産材を使っての利用拡大。まだまだ高額なのは。
- ・自分の住む地域では全くなされていないと感じられるため。

### (9. 民有林と国有林の相互協力)

- ・私の住む地域的なものかもしれないが、まず山林が多く、国有林の近くは道路も整備されていて正直一年間にどれだけの一般車が通行するだろうと思う反面、地域や個人が管理している山林は鬱蒼としているし、大型車も入れないように思う。
- ・一つの山において、整備されているところと、不十分のところが、あまりにも明確に区分けされ、見分けられる。相互協力は難しい課題もあると思うが、まだまだ足りない。民有林と国有林は目的などが異なるので難しいのではないかと思う。
- ・国有林事業は先端を行っているが民有林になかなか情報が伝わってこない。森林組合員としても情報がない。「相互協力・普及・定着」とあるが行政や事業者で止まって、所有者へは伝わってこない。

### (3) 適切な森林整備の取組を一般に広く発信していくためには、どのような取組が必要だと思いますか。



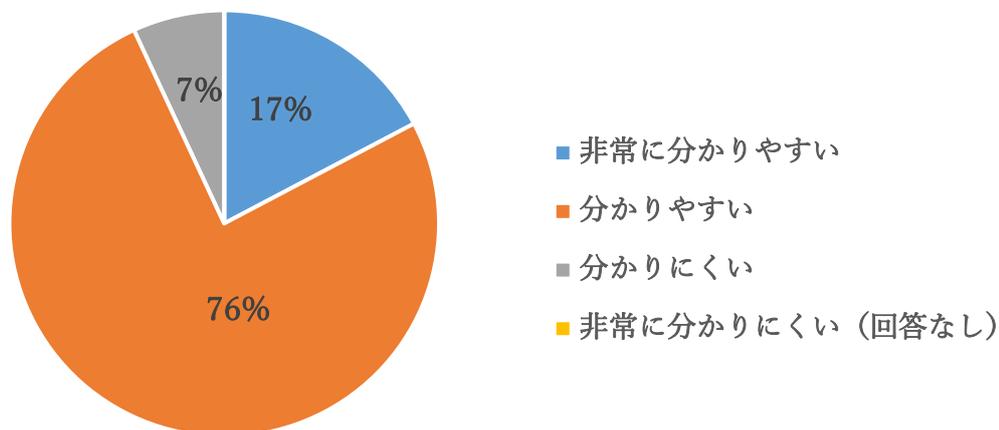
### 【その他】

- ・「伐って使って」の段階で経済効果があるような取り組み。
- ・間伐材を集積しバイオマス発電の燃料に仕向ける事業を実施するなど、交付金を有効活用した取り組みが求められる。観光（紅葉、眺望、巨木等）と連携した山の魅力を発信、これをきっかけに山への関心を促す。
- ・見学会に参加して、初めて植林活動や「林業コンビナート」の存在を知った。まずはいろんな機会を作って周知させることが大切だと思う。
- ・地域のテレビニュースや新聞にもっと取組を積極的に売りこみ発信してもらおう。
- ・若手を主にモニターを募集する。

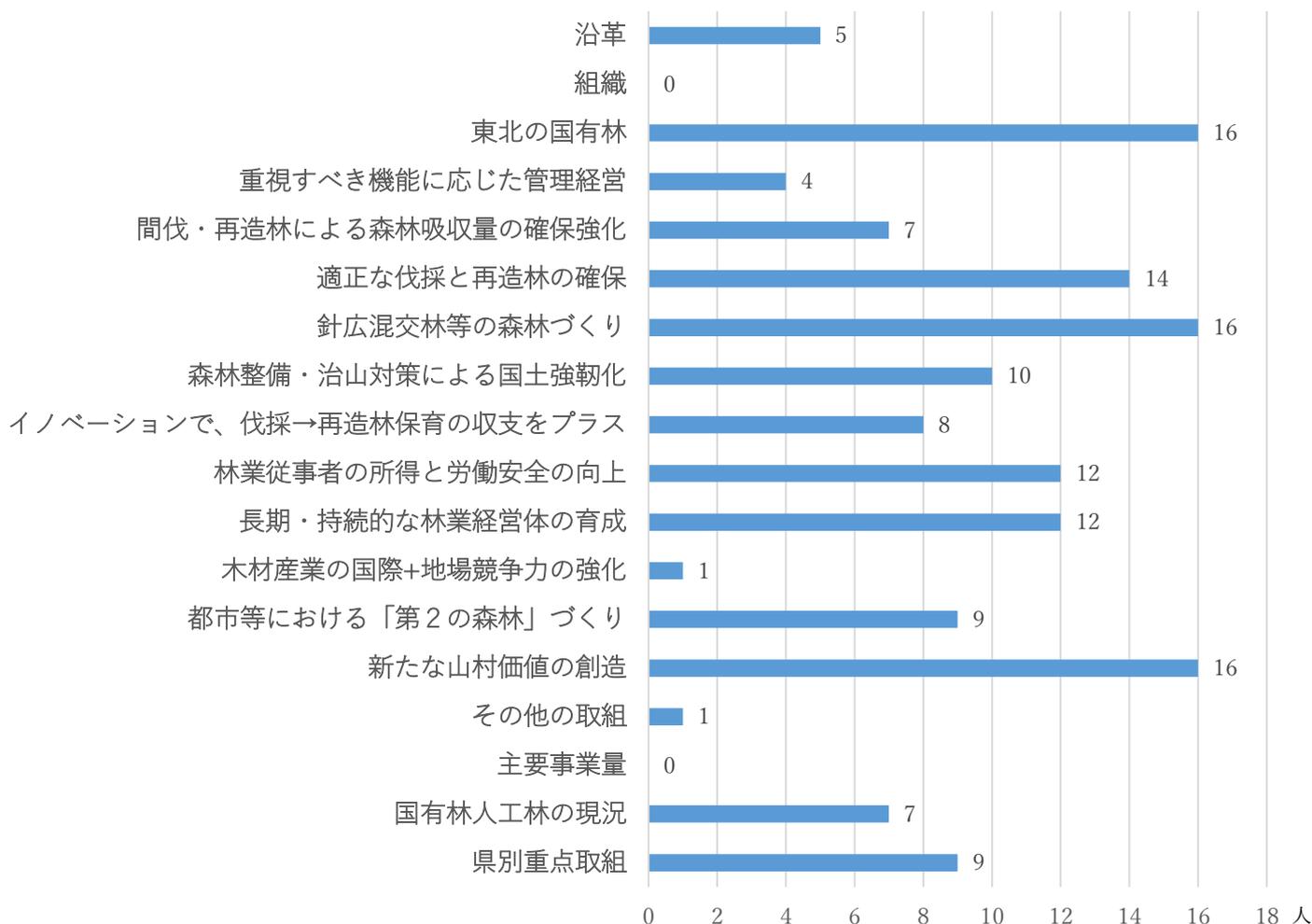
## 2 情報発信について

(1)「東北の国有林」は、広く一般の方々に、東北森林管理局の取組の概要を知っていただくためのパンフレットです。「東北の国有林」について次の問いにお答えください。

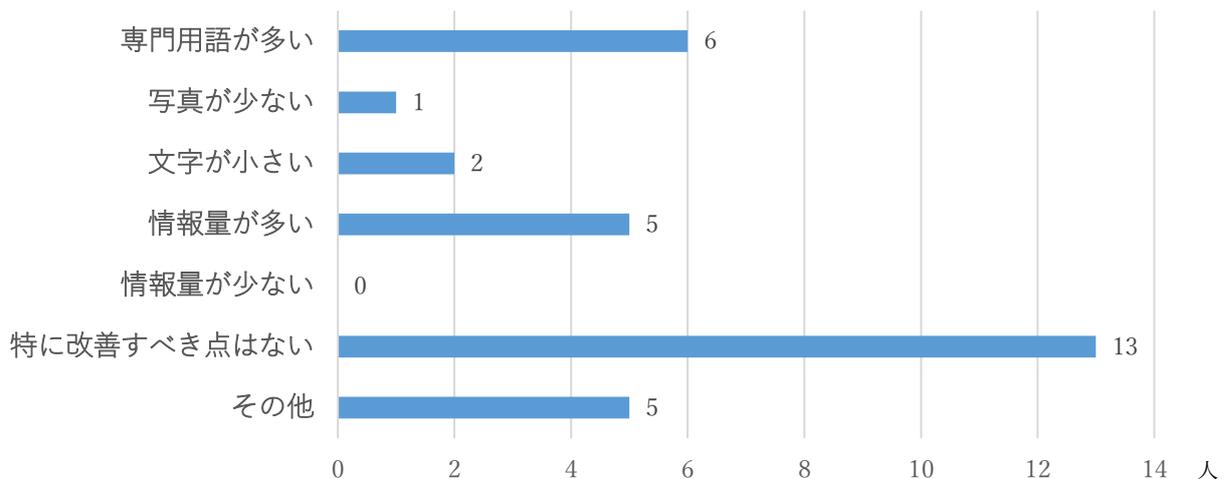
①全体的な印象を教えてください。



②興味深かった項目を5つ教えてください。



### ③改善すべき点とと思う点はありませんか。（複数回答）



#### 【その他】

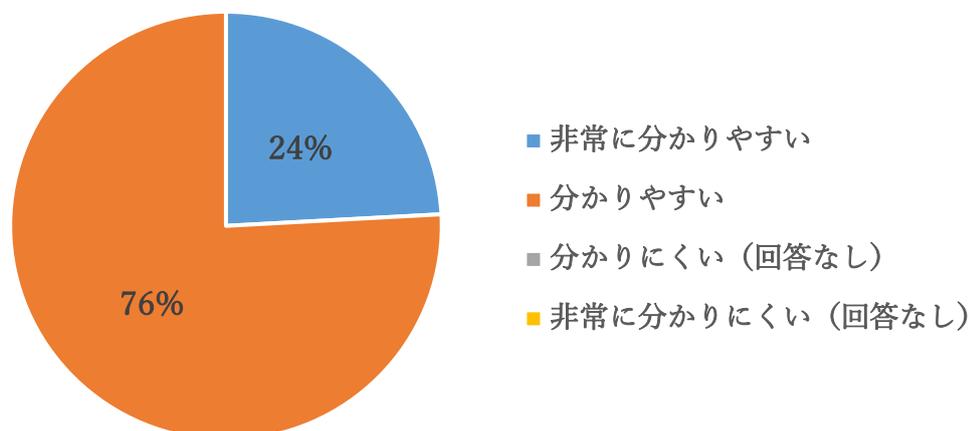
- ・当該年度の（１）新たに開始した取組、（２）統廃合した取組を一覧掲載したページがあると明解に感じる。
- ・具体的な現地取組事例の紹介を増やしたら良いのでは。

### ④パンフレットに掲載してほしい内容や、御感想

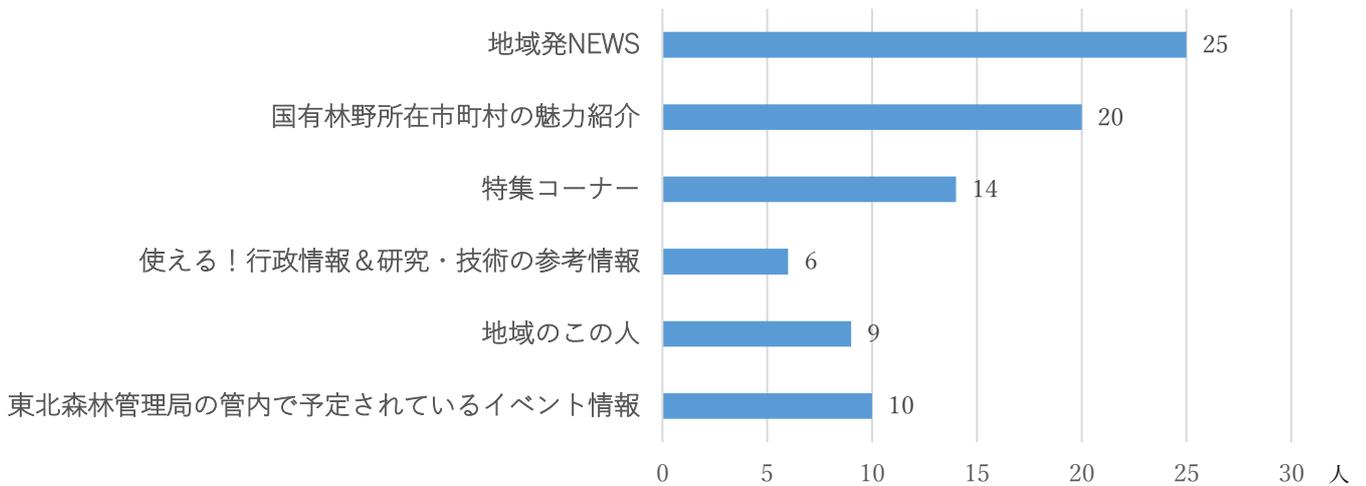
- ・出前講座の内容と質疑を取り上げるコーナーを作ってみたらどうか。
- ・「人」に焦点を当てた記事が欲しい。
- ・興味をそそる様に難しい専門用語は辞書に出来ると良い。たとえば、国有林の山菜は本当は採ってダメとか。
- ・自伐型林業の成功事例。
- ・女性で林業に関わっている人の紹介。料理レシピなど。

（２）「みどりの東北」は、毎月発行している東北森林管理局の広報誌です。管内に所在する署等の取組や国有林野所在市町村の魅力等を紹介しています。「みどりの東北」について次の問いにお答えください。

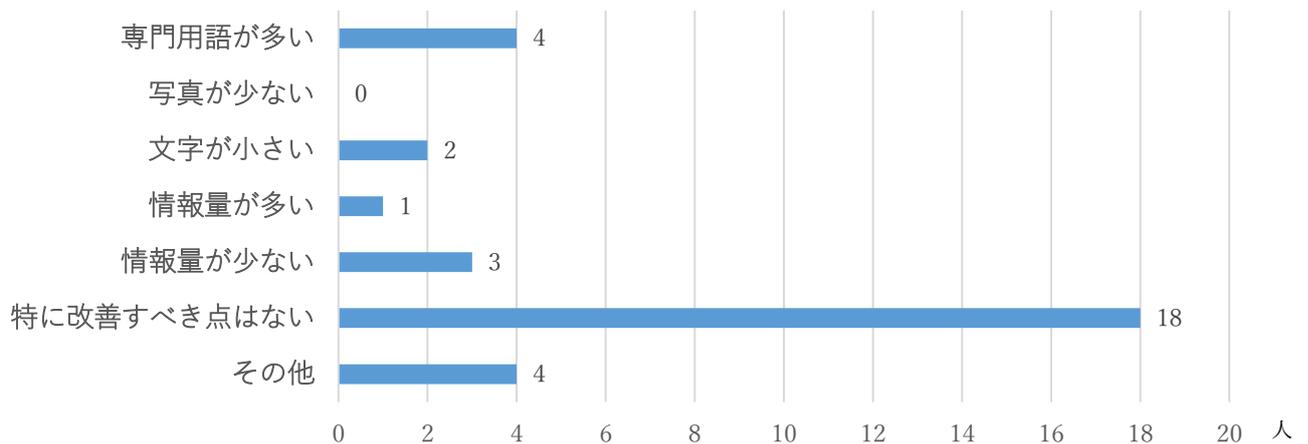
#### ①全体的な印象を教えてください。



②興味深かった項目を3つ教えてください。



③改善すべきだと思う点がありましたか。(複数回答)



【その他】

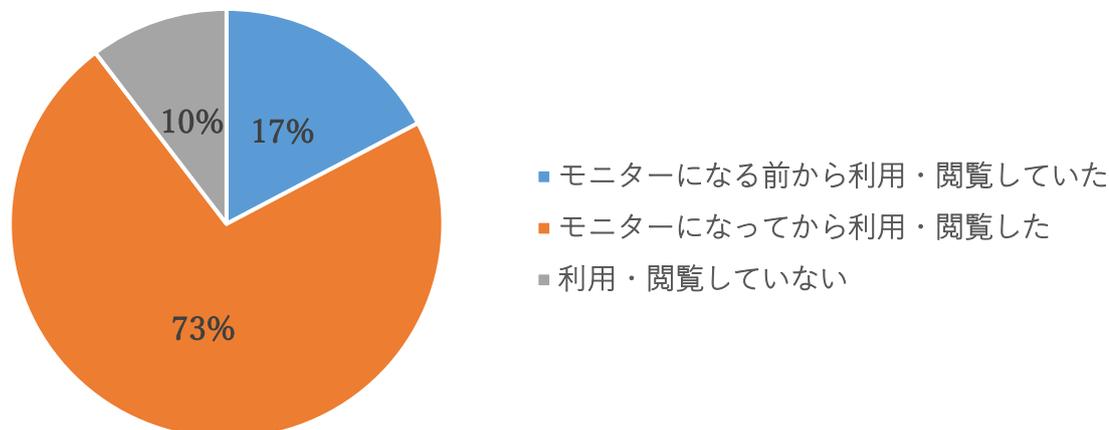
- ・写真を大きく使い、記事は写真説明を少し詳しくするくらいではどうか。
- ・イベント情報を楽しみにしているが、終わってしまうものがあり残念。
- ・字体を変えて欲しい。ゴシック文字は読みにくいので明朝体へ。

④広報誌に掲載してほしい情報や、御感想

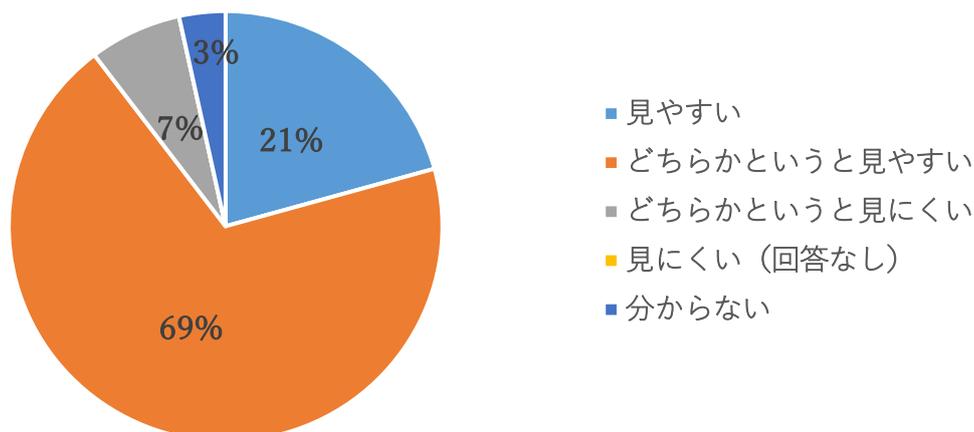
- ・意外な職業の人たちが森林整備と関わっていることを紹介してほしい。
- ・ありきたりの魅力紹介ではなく、森林管理署ならではの場所・取組が知りたい。
- ・月の初めに封筒が届くが、イベント情報が過ぎていくものが多いので1か月前に掲載した方がいいと思う。地域発newsは、ここにいながら他県の取り組みが伝わっていいと思う。
- ・特集にも力を入れて欲しい。
- ・イベント情報はもう少し先の情報を掲載していただきたい。届いた時にはほとんどの情報が過ぎたもの。数か月先のものを載せて欲しいと思った。
- ・料理や健康について。

(3) 東北森林管理局ホームページでは、イベントやレクリエーションの森の紹介等様々な情報を発信しています。ホームページについて、次の問いにお答えください。

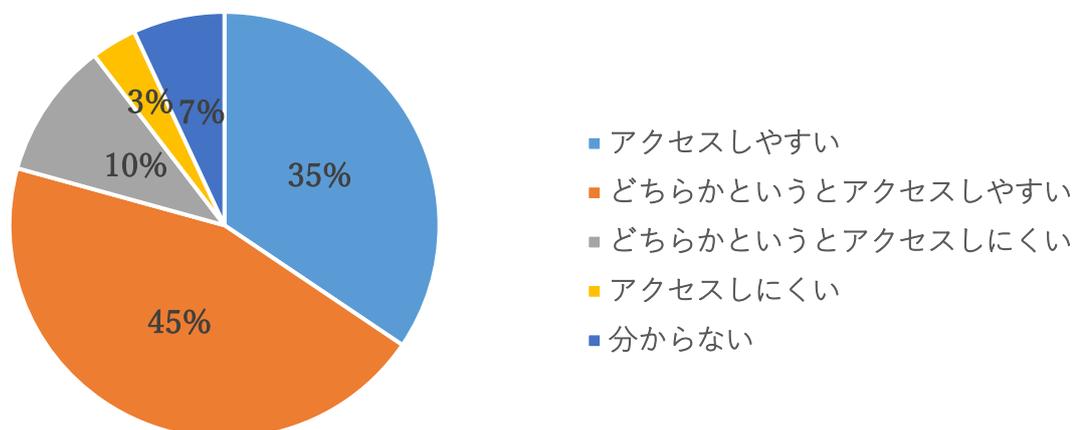
①東北森林管理局のホームページを御存知でしたか。



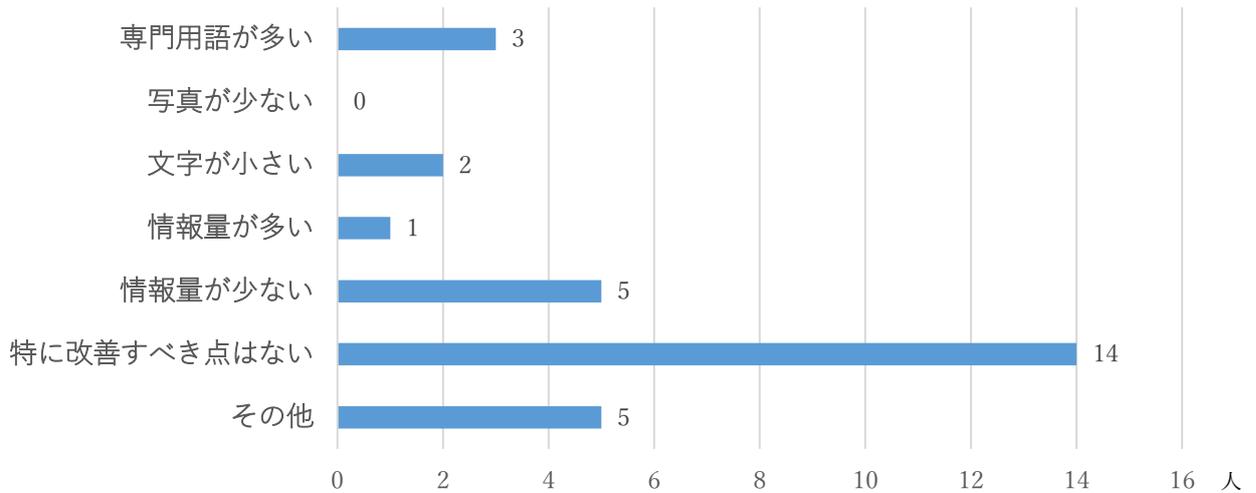
②レイアウトについて、どのような印象を受けますか。



③知りたい情報へのアクセスのしやすさ (目的のページへの到達のしやすさ) について、どのような印象を受けますか。



#### ④改善すべきだと思う点がありましたか。(複数回答)



#### 【その他】

- ・素人は、あくまで素人。脚注等を使い専門用語をきめ細かく解説していただき、読者自身が、慣れることも大切だと思います。
- ・なかなか慣れないので、どこからスタートするか分からない。
- ・知りたい情報を見るまでに時間がかかる。
- ・「報道発表資料」が令和5年度は皆無、令和4年度も前年比で半減しており、気になる。掲載場所が変更になったのであればその案内表記も必要かと思う。

#### ⑤ホームページに掲載してほしい情報や、御感想

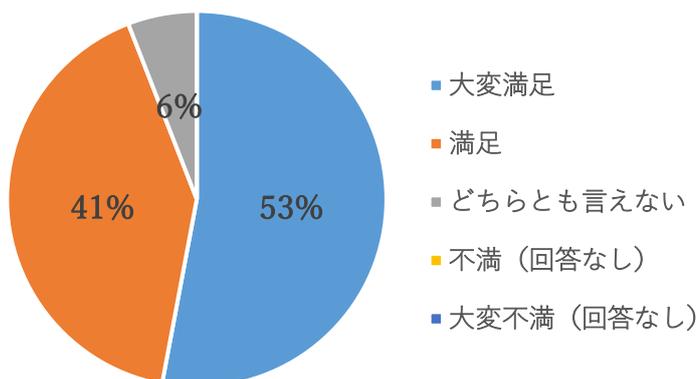
- ・各県の、ケースによっては全国的に新聞やテレビなどで紹介された記事や番組をコンパクトに紹介する特集コーナーがあってもいいのかなと思う。
- ・年間のイベント情報。「みどりの東北」では毎月のイベントが分かるが、もっと前から分かっていたら参加してみたいものもある。シンポジウムや講演なども参加してみたい。
- ・仕方がないことと思いつつ、私どものように年寄りになるとパソコン上で閲覧することが大変。入口はひとつで、PDFを開くと図で解説があったり分かりやすい内容になってはいるのですが分かりにくい。文字の羅列のように感じる。

### 3 現地見学会について

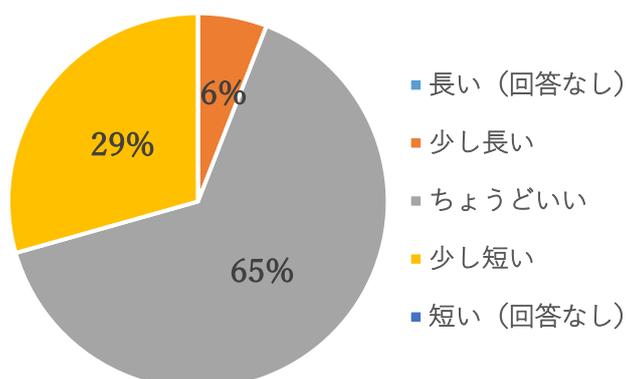
(1) 10月20日に宮城北部森林管理署管内で実施した現地見学会について、教えてください。

#### <海岸防災林での植栽体験>

##### ①体験内容

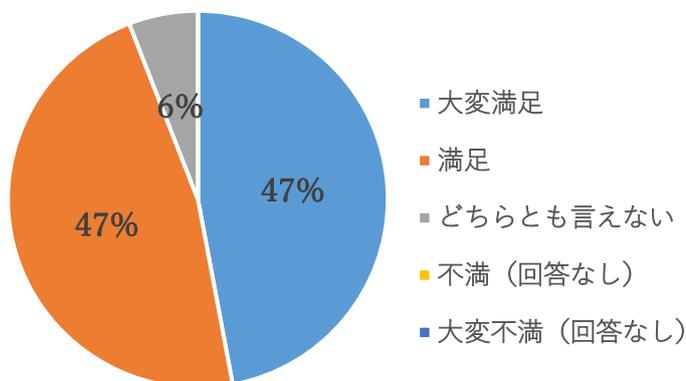


##### ②体験時間

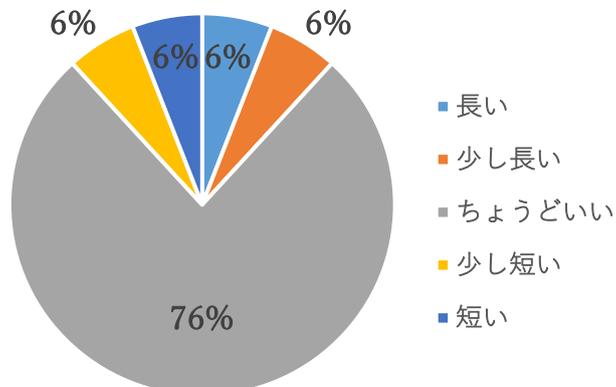


#### <株式会社山大での工場見学>

##### ①見学内容

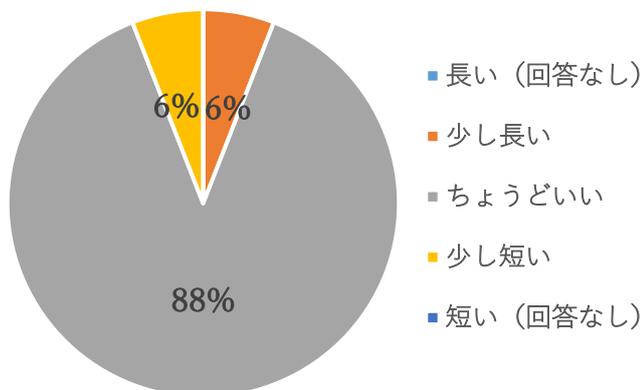


##### ②見学時間

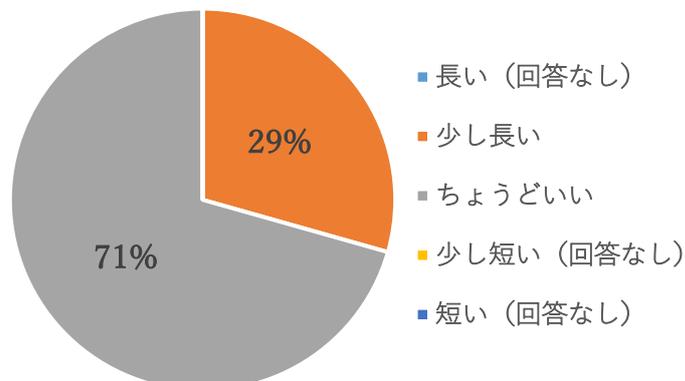


## <見学会全体>

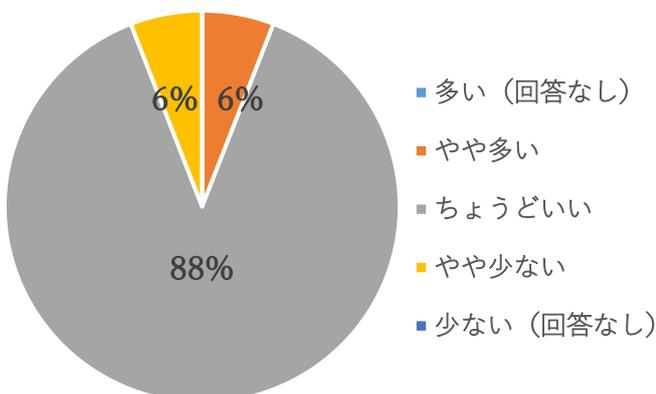
### ①昼食時間



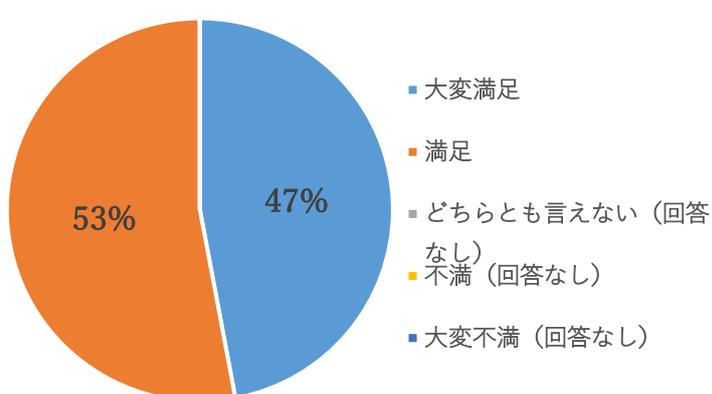
### ②移動時間



### ③配布資料



### ④満足度



## (2) 御意見・御感想

- ・ 植栽見学、山大見学ともに興味深い内容であった。また、震災以後、初めて石巻を訪れる機会になり復興の様子を見ることが出来たのも良かった。
- ・ (株) 山大での工場見学について原木を安定的に供給出来て、需要者のニーズに迅速に対応でき、製品流通の低コスト、効率化が進んでいること。乾燥技術と製材加工の強化が図られ安定供給体制の構築がなされている事に驚かされた。
- ・ 実際の植林は、山の斜面等での対応で、厳しい条件での植林となると思うが、実技を体感できて、正直、とても楽しかった。もし、機会があれば、植林事業での現地体験をして、その後、有料となると思いますが、植林した木の成長を確認(体感)できるイベント等を設けてもらえれば、是非、参加したいと思った。
- ・ 植栽体験で、時間が余り過ぎたと思う。余った時間があったので、植栽の前後にもう少し周囲の防災林について説明が欲しかった。せっかく行ったのに時間が余るのは残念。
- ・ 植樹体験は非常に短時間で終了する内容だったので、2倍程度の体験面積があっても良かったと感じた。または、つる草の除去体験を希望者限定でプラスしても良い経験になったと思う。

- ・ 集合場所からバス移動で 30 分位がいいと思う。今回の防災林植栽とプレカットの関連性がわからない。
- ・ 現地見学会のアンケート実施は、少し遅いと思う。その印象が希薄になって来るので、見学会実施後 2 週間以内位に行っていただきたい。
- ・ 自分が植栽したクロマツの成長具合を、3 年後に見学してみたいと思う。
- ・ モニターになって見学会等に参加し、知り得た事がたくさんあり勉強になった。
- ・ 工場見学では工場内の移動に自転車を使ったり、鳥対策の目玉のマークなど興味深かった。案内係員が指差した先の製紙工場についての説明も面白かった。なぜ広大な敷地に関連する工場が隣接しているのかを知り、大変勉強になった。
- ・ 海岸防災林は植栽だけでなく、マツの成長具合ももっと詳しく確かめたかった。工場見学は木材の可能性を知ることができ、楽しかった。
- ・ 毎回参加しているが、モニターならではの見学会は楽しい。
- ・ 全体像の概要説明が事前にもう少し欲しかった。海岸防災林・・・東北管内での取り組み面積、保全管理方法など。(株) 山大・・・東北全体での森林加工現場でのプレカットのシェア進捗状況、プレカット以外の加工方法とは。
- ・ 海岸防災林での植栽体験は、震災復興の様子が実体験を通し、よく理解出来、有意義なものだった。防災林周辺を周遊し、全体像を見学出来ると良かった。
- ・ 地道に植林したり確認したりして守られているんだなと感じた。ドローン映像などが見れたらもっと良かったと思う。

**(3) 御参加いただけなかった理由について、教えてください。(複数回答)**

